

No. 63

2006

2月1日発行

萩の郷

発行者
下市田区
発行責任者
木下 豊
印刷
下市田・キタバヤシ印刷

春よこい、早くこい



ここだけは別天地。3区、仲平さんの園芸ハウスにて

八万五千余票の中から選ばれた二〇〇五年の世相を象徴する漢字は「愛」。

十一回目を迎える公募で心温まる印象の文字が選ばれたのは初めてとの事。

列車事故、建物の耐震強度偽装、幼い子供が犠牲になった悲しい事件、と暗い印象の強かった昨年。

「相手の喜び、悲しみが伝わってくるのが愛。観音様の慈悲にも通じる」と清水寺の森清範貫主。

そっと目を閉じ、「愛」その一文字を思い浮かべてみて下さい。どこかほんのりと、そしてホットした小さくても幸せな何かを、暖かみを感じません！

今年こそ喜びの「愛」がもっとストリートに実感できる、そんな明るい年になる事を願います。

萩山の里の発展を見守り続けて七百年（推定）。荒神社の大杉の古木が一本安全面から伐採されました。気の遠くなる程の長い年月を生き抜いた神木のパワーの恩恵に授かれたらと御札等に加加工し希望者に頒布すべく準備中です。朽ちた古木で多くの数は望めませんが、お盆頃までにはお届けできると思います。

下市田区

新三役の紹介と挨拶

昨年十月、下市田区三役の任期満了に伴ない、立候補並びに適任者の推薦を告示し、区民による信任投票の結果、新三役が決定しました。



区長 木下 豊

国も地方も厳しい財政運営を強いられる中で、住民要望は益々多様化する時代を迎え、区の運営も厳しさが予想されますが、皆様方のご理解をいただきながらより住みよい地域づくりに努めたいと思いますので、よろしくお願いいたします。



副区長 林 稔

この度の下市田区三役の改選に当たり、区長に選任されました。もとより微力ですの器ではありませんが、お引き受けした限りは私なりに一生懸命努めて参りたいと考えておりますので、皆様方の力強いご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

なお、前副区長在任中にお寄せいただきましたご理解とご支援に深く感謝申し上げます。

さて、近年農村の過疎化が叫ばれる中で、下市田区においては世帯数一四〇〇戸に迫り、人口は四五〇〇人を越え、町の中心地として発展しております。

この度、区三役の改選にあたり、図らずも副区長に選任されました。もとよりその器ではありませんが、お受けした限り私なりに一杯努めて参りたいと思います。

尚、前会計期間中には、区民の皆様からの深いご理解とご支援によりまして、何とか任を全う出来ました



会計 龍口 平八

ことに、厚く御礼申し上げます。お受けして早速、町のふるさと祭りがあり、恒例の「下市田おしるこ店」は、関係の皆様のご尽力により大いに好評を博することが出来ました。

又、下市田区民会館も、学習活動や体育活動・コミュニケーションに年代を超えて、利用が盛んになって参りました。サークル活動を通じた地域の連繋や生き甲斐作りに、大いに利用していただきたく、申し込みをお待ちしております。

今、思わぬ犯罪など多発する中、明るく健全で活力ある下市田区の維持発展のため、木下区長さんを補佐し、微力を傾注して参りたいと思います。

皆様のご指導ご支援を宜しくお願い申し上げます。

が、お引き受けした限り、私なりに一生懸命努めて参りたいと思いますので、何卒よろしくお願いいたします。

最近の社会情勢は変化が激しく、不況・低金利等で大変厳しい財政の中、区としても財源確保に努力をし、健全な財政運営で住みよい地域づくりに、皆様と共に取り組んで参りたいと思います。

さて、私は現在、下市田でも一番北側の大島川に接する地域に住んで居りますが、県内外への単身赴任が長かったため、地域に疎く皆様方に何かとご迷惑をお掛けすると思いますが、お力添えを頂きながら、精一杯努めて参りたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

会計をお受けして一ヶ月、その任に当たって見ますと非常に業務量が多く、会計の分野は初めてですので果たして全う出来るのか、不安な気持ちで一杯です。

何分にも未熟者ですので区民の皆様方の温かいご指導とご鞭撻のほどを心よりお願い申し上げます、就任の挨拶といたします。

区の情勢について

区長 木下 豊

平成十八年の新春を迎え萩山の里の安泰と区民の皆様のご健勝を祈念申し上げます。

また、この度の区三役の改選により退任されました前区長大屋敷清利さんの長年に亘るご尽力に対し深く敬意と感謝を申し上げます。

① 五期二十年間続いた吉川町制から、新しい首長を選ぶ今回の高森町長選には下市田から唐木孝治(四区)、福沢嘉言(五区)、熊谷元尋(六区)の三氏が早い時点で出馬を表明され、区としても三氏の推薦を決定し地元自治会を中心に応援体制を組む中、四人目の候補擁立の動きが土壇場まで続いたこともあって、各候補とも後援会の組織作りや全町への浸透が遅れ、各候補の持ち味が充分理解されにくいまま投票日を迎えた感があったが、塩沢伝兵衛町長以来三十七年ぶりに下市田から町長が誕生したことは極めて喜ばしいことと思います。熊谷元尋新町長の当選とともに喜

び、公約実現の政治手腕に大いに期待し、新しい町づくり、地域づくりのために尽力されることを願うものであります。

また、福沢嘉言氏の議員辞職に伴う補欠選挙には下市田から小島福夫氏(四区)、上市田から中川賢俊氏が出馬し、小島氏が大幅で当選されたことを喜ぶと共に、他の地元議員とともに新しい町づくりのために尽力されることを期待します。

② 新しく一区北村地区(北の原)に国道のAコープ北側から入って中央公園西の竜西線交差点付近までの延長約三六五米・車道幅員六米・二、七五米の道路と、その道路に沿って一区の集会施設を作るための工事が進んでおります。(竣工は埋蔵文化財調査との関係で遅れる見通し)

③ 下市田の人口は

地区	人口	世帯数
1 区	1,535	476
2 区	485	132
3 区	827	257
4 区	407	120
5 区	655	191
6 区	672	221
下市田	4,522	1,378
外国人	47	28
高森町	13,339	4,011

(H18.1.13現在)

退任挨拶

前区長 大屋敷清利

二〇〇六年の新春を迎えていただきました。長いようでも、あつと言う間の出来事でありました。

さて、昨年十月末、下市田区三役の任期満了に伴う改選にあたり、区長を退任致しました。

平成十三年十一月から四年間、微力ながら勤めて参りました。この間、多くの皆様方のご支援ご協力をいただき、任を終えることができました。ご厚情に感謝し、御礼申し上げます。

例えば、平成七年から下市田公民館、平成十一年から下市田区代議員、平成十

三年から区長と、通算五期十年間下市田区へ関わらせていただきました。長いようでも、あつと言う間の出来事でありました。

委員会活動報告

環境衛生委員長 小 椋 邦 彦



下市田区の皆様には、ご家族お揃いでお健やかな新年をお迎えの事とお喜び申し上げます。

私、昨年度より環境衛生委員長を仰せつかり、早くも一年を迎えようとしてい

ります。介護予防施設として大いに利用され、健康増進に役立つことを願っています。

その間には、平成七年から下市田公民館の改築研究、解体、新築、完成があり、九年から区民

会館として区民の拠点となつて活動を支えています。

平成十六年には、健康センターが完成し、利用が始まっています。黒沢下へ下水道終末処理場設置に端を発したもので、区民待望のものであ

ります。介護予防施設として大いに利用され、健康増進に役立つことを願っています。



退任にあたって感謝状と共に花束が贈られた

ます。私達環境衛生委員は、毎月的一般廃棄物の収集立会いを始め、使用済み乾電池・蛍光管の収集等、町や地域の環境対策に係わらせて頂いており、特にゴミの分別収集については区民の皆様方の協力を頂いております。常会長さん、各組の担当の皆さんには毎月の収集日における早朝からの協力に厚くお礼申し上げます。

今日、私達を取り巻く環境は多様化する社会構造の

萩山郷土芸能保存会

幹事長 古瀬 栄一



下市田区民の皆様には御家族お揃いでお健やかな新年をお迎えの事とお喜び申し上げます。

昨年十二月六日に萩山郷

終了することができました。十七年度の活動状況及び会計報告等につきましては、すでに回覧させていただき

この総会で図らずも私が十八年度の幹事長を仰せつかりました。元より浅学非才で何も出来ない私ですがお引受けする事になり、保存会執行部、運営委員、区

宵祭り、二十六日本祭りが予定されております。祝ひ獅子も例年通り行いますので、多くの御家庭でのお招きをお願いいたします。三人の子供と獅子舞も堪能していただきたいと思っております。

平成十八年度 幹事会役員

幹事長 三 区 古瀬 栄一

副幹事長 四 区 木村 善徳

会計幹事 四 区 林 義彦

副会計 三 区 仲平 信男

備品幹事 一 区 田本 俊明

副備品 二 区 岡田 信男

幹事 一 区 垣屋 良人

二 区 上沼 建司

三 区 山崎 己達

四 区 岩下 智

五 区 佐々木 章

六 区 宮外 清隆

六 区 北原 護

六 区 寺沢 正勝

信州伊那谷の春一番の祭りは萩の郷からで、今年は三月二十五日



ふるさと祭り コミュニティテント村

下市田「おしるこ店」

十月十九日。まんて一本飲むと、「やるっ二十日は、そきやアねえ」という気持ちにさせられて(いや内心はよく晴れたものだと思っ役割が出来ているわけでもないのに、それぞれの部署に着きます。

「十日掲いたが、今年は薄かったで数があるに」と、はたの主人は注文の餅を持ってきた。大歓迎である。二千三百食の予定が二千五百食になれば二百人が余計に喜ぶというものです。

早速、餅焼き連は農協リースのガスコンロに火を点けて焼け具合を見ます。餡は二日間で八十キログラム。お汁粉連は一日四十キログラムの餡を午前と午後の二回に分けて、大鍋二つにお湯を注いで溶かしま

す。漬物を用意する人、看板や机・いすが整えられて準備ができました。開店を待つ長蛇の列。相変わらずの人気です。さっそく町長さんも顔を見せました。出来具合を食べてもらいます。○

(丸)のようです。「さあこい」とばかりに気合いが入ります。開店です。頭越しに手が伸びてバー

ゲンセールのような騒ぎです。用意の三、四百食分のお汁粉は、あつという間にはけて行きます。

「私はスチュワードですよ」と、御前崎観光光キャンペーンガールの美咲ちゃんが舞い降りた。白地に赤い縁取りのタスキを掛け、黒地にシャツと同じ黄縹の帯のかかった帽子をかぶり、髪を長く垂らしたはじけるような可愛い娘。たちまちおしるこ店のおじさん達は取り囲む。「国内線かな国外線かな、どこを飛んどのんな」松岡副店長が訊く。

「御前崎、高森間を飛んでおります」澄んだ青い空に明るく響く声。歓声があがって記念撮影です。テントは丁度合間。「おいしいお酒」(何でお汁粉でなく喜久水なのか?)、「御前崎へ来てえ」御前崎と下市田のコミュニティです。

バスを仕立てて来たという、関東高森会の人達も見えました。「天気は良いし、ふるさとはいいですねえ」と、昔話にテントの中は賑やかに花が咲いて一杯です。「おい、汁粉が足りんぞ」と、急いで水と砂糖



新刊図書紹介

支館図書の平成十七年一月から十二月までの利用総数は、百五十冊。昨年度とほぼ同じ利用状況です。新年新たに部員総出で三十四冊の本を購入に行ってきました。最近話題の本から園芸の本まで多様な分野がそろっています。多くの方が気軽に来館し、本を利用していただきたいと思っています。

利用方法

- 一、来館した折にいつでも借りられる。
- 二、図書貸出簿ノートに記入するだけ。
- 三、貸出期間は一ヶ月

◆購入図書 一部紹介

園芸なんでも相談室、病気になる生き方、子どもが育つ魔法の言葉、子犬の飼育方、方、シリウスの道、さおだけ屋はなぜ潰れないのか?、下流社会、子ぎつねヘレンがのこしたものの、プロ論、それでもやっぱりがんばらない、帰ってきたアルバイト探偵、生協の白石さん、野村ノート、歳三往きてまた、変な人の書



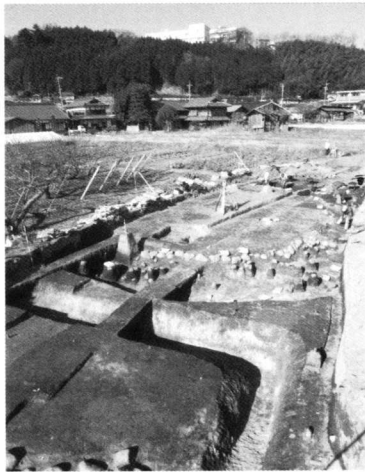
区南集会施設現場 遺跡調査から見えてきた事

下市田一区北村・北の原
地籍に、町防災基盤整備事
業で防災施設、広場と国道
から北村地籍への道路が整
備されます。

この地帯はすでに大正初
年頃より、縄文中期以降の
土器・石器が採集されてお
り、特に昭和四十五年に住

宅地として
開発がされ
るに先駆け、
遺跡調査が実施され、その
結果全国的に見ても弥生中
期後半の特徴ある住居址集
落群、又特徴ある北原式土
器、磨製石鏃が発掘されて
おり、考古学界では弥生時
代の一時期の土器として有
名です。

トレンチ方式で昨年の暮
れから調査を実施しており
ます。新設道路内二一〇M
間に、住居址が十三戸と直
径一四Mの円墳と一〇Mの
方形周溝墓が一基ずつ発掘
されました。防災施設と広
場の敷地内では二基の古墳
がみつかり、一基には横穴
式石室の一部が残っていて、
その構築方法から、日本国
内でも飯田市座光寺地区で
高岡の森古墳を含め三基だ
けに見られる特殊な造りの
石室であることがわかりま
した。



住居址も十二
戸、一五M間隔
に一戸、一戸の
広さは七M×八
M、八M×一〇
M位で現在の住
宅より大きな住
居であり、大家
族が同居して暮

下市田の郷土史と民俗②

門松の 飾り付け

らしていた状況が伺えます。
出土される石器・土器又
陶器には当時この地方で造
られていないと思われる須
恵器、土師器、中国の青磁
器片等出土しており、その
時代にいかに中央政権と深
く繋がりがあったかを証明
しております。それはこの
地方に多く飼育されていた
馬と関係していて、これが
後に富本銭との結びつきに
なっています。

さて防災施設（一区南集
会施設）は、前に述べた様
に縄文・弥生時代から千六
百年余り連綿と続いた土地
に建てられる訳で、この施
設を有効に活用し、この優
れた文化遺産を末永く伝え
又発展させる事が大切では
ないでしょうか。

井から吊るされる。（普通
は神棚で代用している）松
を省いた正月飾りは無く、
お松様と言われる程神聖視
されている。

松の小枝を添えて作られ
た沢山の「輪じめのやす」
は、神仏に関係深い場所に
供えられる。神社・墓・観
音堂・お薬師様・氏神様・
産土様・水神様・恵比須様・
秋葉様・お庚神様、その他
石造物。その他、神棚・仏
前・トイレ・風呂・納屋・
穀倉・文庫倉・味噌部屋・
畜舎・井戸・水道・田の水
口等生活に関係あるあらゆる
場所に供えられた。此の
おやすは、一月六日
になると、ほんやり
の大事な焚き付けと
なる為、奪い合われ
た。

（下市田史談会）

さて、松迎え
が済むと年神様
（正月様）をお
迎える準備に
各家では忙しい。
家内外の大掃除
は、青竹に笹の
葉を束ねて作っ
た煤払いで、天
井についた一年
中の煤を払い落
とす。門先には、
栗の木の皮をむ
いて間隔をとり
二本立て、それ
に常緑の松と竹
（櫛を使う家も
あった）を結わ

話はそのが、大
昔の日本では、一年
中を春秋の二季節
（一〜六月・七〜十
二月）それぞれ
同様な行事が行
われて来ている。
それが現在も継
承されて来いて
いる。思い出し
て下さい。先ず正
月、暮れの墓参
り（やす供えを



下市田のみなさん

こんにちは

五区出身

湯沢道文

(横浜市在住)

昭和四十一年、市田駅から新宿行き急行列車の乗客となって爾来四十年、人生の大半を東京圏で過ごし、下市田との関わりは齢を重ねるに連れ希薄になりつつある。とは言え、生家には私達を常に温かく迎えてくれる兄夫婦とその家族があり、母も健在である。加えて私の家族も生家を大切に思っていてくれており、適度な密度を持った繋がりが保たれている。



H17.12.29 イタリアボンペイにて

還暦に近い年齢になっても、帰省前夜の気持ちの高揚は抑え難いものであるが、懐かしい方言を聞き、慣れ親しんだ風景の中に身を置けば、自ずと気持ち安らぐのを覚える。夕べに、ふるさとの味が並ぶ食卓を皆で囲めば至福の時となる。

「健康第一」の実践報告

四区 木村典雄

新聞・雑誌・TVなどで「健康をテーマにし、さかんに健康をテーマにし、たコマーションや企画が伝えられるこの頃です。」「医療制度を改悪したから、自己責任で健康管理をしろ」ということか。」と思いつつも、やはり健康第一は大切と素直に認めざるをえません。



痛みと温もりと

—子供との対応から—

五区 田中達郎

以前尿管結石を患ったことがあり、今まで経験した事の無い激痛に襲われ、下腹から背中にかけて、ねじれた腸へ太い針金を間断なく差し込まれるような、名状し難い痛みに苛まれた。妻と娘に付き添われて緊急医へ向かう途中、二人の「どこが一番痛い」という問いには何とか答えたものの「どう痛むの?」には



年齢が増せば増すほど、若い人以上に日々の生活の中に、意識的に運動を取り入れていくことが、健康の秘訣でもあるようです。そして、その実践はそう難しいことではありません。



大好きなスキーもまだまだ楽しみたいし、足腰の痛みがなく自由に動ける身体でいたいので、夕映道路や湯ヶ洞街道を使って、これからの運動を続けたいと思っています。

皆さんも一緒にいかがですか。

て、その子なりの想いを大事に理解して欲しい。

「受容」「共感」「信頼」の和みの場を広げて、言葉にはならない心の痛みと叫びを受け止めてやりたい。

「母」という文字が示すように、わが子を抱きかかえて乳をふくませる無条件なる受け入れの姿が、子育ての原点そのものである。

私は、かつて体験したあの断末魔のような痛みの中で、一縷の望みの元に支え握り締めてくれていた娘の手の温もりを、永く忘れることはできないのである。

わたしの作文



ぼくの作文

新年の決意

小五 山本梨奈(三区)

私が今年、やると決めたことは九つあります。その中でも特にがんばりたいことは、六年生になるので委員会の仕事や係の仕事をしっかりやりたいと思います。

生活面では、元

私は、四年生と五年生の後

期に飼育委員だったので、

六年生になっても飼育委員

会をやりたいと思っています

す。もし飼育委員になれたら

四、五年生の時は忘れて

しまったことがあったので、

今度こそ一回も忘れないように

にしたいです。

勉強では、社会が苦手な

自分で決めたスポーツ

中一 船田太一(二区)

いやいやでやってきました。

平成十七年

小学生の時、僕はサッカー

をしていました。しかし自

分で決めたのではなく、両

親に「部活(スポ少)をす

ると、友達の交流もありと

ても良い。」と言われたの

で、する事にしました。

初め時は楽しく感じて

いました。やっていくうち

に上手くなったけど、自分

で決めず強制なので、面倒

臭いと思う、やりたくない

と思うほどでした。二年間

に高森中学校に入学し、中

一になったのだから、今度

は自分にあつて続けていけ

る部活にしました。それが

卓球です。でも、ただ単に

自分にあつた部活というだ

けではなく、自分がやった

ことがなく、なぜか知らな

いけど、楽しそうと感じ、

選びました。予想は的中し、

やってみたら優しい先輩と

谷道七郎先生、小笠原先生

にご指導いただき、楽しい

も自分の意思で決

気なあいさつです。

私は、学校に行く

時や帰りに、近所

の人達にあいさつ

はできるけれど、もっと知

らない人や見かけた人には

「おはようございます。」

「こんにちは。」と元気なあ

いさつをしたいです。

学校では、友達と仲良く

することです。小学校最後

部活となりました。

やはり親に決めてもらっ

たのとちがい、自分の意思

で決め、自分で進まなくて

は、なんの成長もなく、逆

に自分で決められ

なかったという思

いが残ってしま

います。人間は自ら

行動をしなかつた

時の悔いより、行

動した時の悔いの

方が小さいと言

います。なので何事

も自分の意思で決

編集委員研修旅行
知多半島への旅

去る十一月二十七日(日)、支館編集委員の研修旅行が行われました。編集委員はまだ一年目と云う事もあり、親睦を深めるのに良い機会となりました。

快晴のもと早

朝高森を出発、

愛知方面へ向かい、午前九

時頃アサヒビールの工場へ到着。休日のため

製造ラインは稼働して

おりませんでした。

ビデオや係の方の説明

でビールが出来上がる

までの行程を見学し、

試飲コーナーでは出来

立てのビールの味を楽し

しました。

その後、南知多方面

へ向かい、昼食は海の

幸に舌鼓を打ち、また

鮮魚センターでお土産

を選びました。

午後は、焼き物の街

常滑市の「やきもの散

歩道」を散策しました。

常滑市内には住宅地の中

に観光客が自由に歩

けるコースが設けられ

ており、小さな工房を

見て回る事が出来ます。

現在は使われてはいないそうですが、登り窯の跡や古民家を利用したギャラリーでは若い作家の作品が見られたり、歩き疲れた人が気軽に休めるベンチがあったりと、さすがに焼き物で成り立っている町だなあと感じました。

午後六時過ぎ、無事高森へ帰着。楽しい時は瞬間に過ぎ、有意義な一日となりました。

久保田記

久保田記



地域の紹介

ふれあいの里一区

一区自治会長

北沢義弘

おります。六月に子供達とのふれあい事業として土器

昨年の六月より部落から自治会に呼び方が変わり、これを期に一層区のふれあいを深めたい。

一区は町の中央に位置し、現在の加入者戸数は三百五十五戸と未加入者とアパート等を合すると四百七十戸余で十九常会、三十九隣組の大部分の地域です。

自治会の事業は分館事業を主体として事業を展開しています。五月と十月に高齢者のふれあいサロンを年三回開催し、お助けマンと民生委員の御協力を頂いて



一区の集会施設は上段に平成十三年に建設された「ふれあい会館」があり、下段には一区生活改善センターがあり、拠り所として利用してきましたが、施設の改善と避難場所の要望等により、北村地籍に防災基盤整備事業で総事業費九千二百四十万円で、設計は桂設計事務所と工事は神稲建設と広域工業の企業体で建設することになりました。去る一月十一日に安全祈願祭を行い、七月中旬に竣工を予定しています。

同じ北村地籍に懸案でありました道路の新設が、地権者の御理解を頂き、国道から進入し竜西線までの三六五米、道幅六米と歩道の二米で、この三月に開通いたします。

グループ紹介

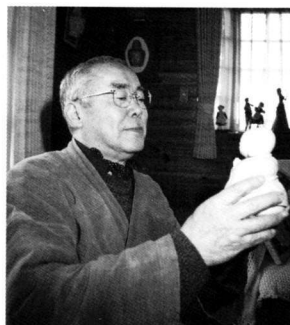
「美寿会」

三区 宮澤 博

私たちが「美寿会」の紹介をいたします。私たちは三区荒神前南の隣り同志女性二人、男性一人の「ささやか」な集いです。「美寿」とは会員の宮沢・恵子、有賀・寿子の名と美と寿を合せて会の名称といたしました。私たちは何をしていく会かと申しますと、主に古布「チリメン」を用いての創作人形・ポーズ人形などを創っておりま

す。その工程は頭、胴、手足などを粘土を素材としてその原形を思いのままに作り、それに胡粉を塗布しその胡粉の面を磨き上げます。さらに髪結い化粧をして最後にチリメンで仕立てられた着物を着せて人形として完成させます。人形のほかに押し絵、雛人形、羽子板、袋物などを気の向くままに創っております。

さて男性の一人は何をしているかと申しますと、それら人形などに必要な調度品、副装



品、机、椅子、箱物などを要求により作っております。箱物などを作るのは、世の中の一隅を照らすことができればと努力いたしております。

私たちが三人は思いのままの作品を個性豊かに切磋琢磨しながら創っております。私たちの作品が見る人の心に安らぎと癒しの糧となればと念じながら創っております。また作品を通して多くの人々と出会いと交流ができることを無上のよろこびと、また生き甲斐としております。

区民会館大掃除

例年より早い雪の舞う十二月四日の日曜日、午後二時から三時半まで、各区の分館長・分館主事の皆さんと、支館三役・支館部員によって、区民会館の大掃除が行われました。

それぞれ割り当てられた分担で、窓ガラス拭き、トイレ掃除、ぞうきんかけ、高い天井や正面玄関のすす払い、使用するのに不具合

びと、また生き甲斐としております。地味な「美寿会」ですが今後益々精進いたします。

編集後記

この冬は寒さも厳しく、雪もよく降ります。その上頼みの綱の灯油の高値と、庶民には暮らしにくいこと

です。しかし、きびしい冬のあとには、必ず花の咲く春がやって来ます。その春一番の「春祭り」もすでに胎動が始まっています。

いずれも下市田から三人という、厳しかった町長選も終わり、久しぶりの地元からの町長誕生で、新生高森の前途にも、希望をもつて参画して行きましょう。

な箇所の修繕など：作業も進むにつれ体も暖かくなりました。

大勢の方々の協力は、本当に手早く、細かい所への目配りが行き届きます。

最後に台所のガスレンジや流し台・冷蔵庫・換気扇をきれいに磨き、大掃除を無事終えることができました。

これからも地域の交流の場として、大勢の皆さんに使って頂く区民会館。今年も一年間ありがとうございます。

支館部員

この号の特徴は、下市田北原遺跡の発掘現場からの報告となりました。先人の知恵と活力を次の世に発展させ伝えるのが、現在に生きる私どもの責任です。そうした目でこの記事を読むと、新たな視点も見えてくるようにも思います。

◆お詫びと訂正

前六十二号八頁の「区委員スポーツ大会」の筆者、松田忠弘さんの肩書が土木委員長となっていました。正しくは消防委員長でしたので、お詫びとともに訂正致します。